QuickTIPS

ユーザーコントロール

対象製品： シナジーiQ、シナジー製品シリーズ

Inspire Xを起動し、補聴器を接続します。詳細は*QuickTIPS*シリーズ： 各製品の初回フィッティング手順をご参照ください。

初めて調整を行う補聴器の場合、 ユーザーコントロール設定は、初期フィットのオートパス後に表示されます。ユーザーコントロールの設定方法は、「**デモを見る**」で確認できます。「**再表示しない**」にチェックを入れて「**閉じる**」をクリックすると、次回から自動表示されません。初期フィット完了後に、ユーザーコントロール設定を再度行う場合、左側ナビゲーションメニューの**ユーザーコントロール**から設定します。

シーソースイッチ、ダイヤル式ボリューム、プッシュボタンなど、異なるユーザーコントロール機能を搭載したスタイル違いの製品を、同時にInspireに接続することができます。

ユーザーコントロール設定

1. 有効にしたいユーザーコントロール機能を選択して、右（赤）または左（青）の「短押し」「長押し」の枠にドラッグ&ドロップします。

<ユーザーコントロールの選択肢>

» **ボリューム**

» **メモリー**

» **耳鳴治療音**

» **ミュート**

ユーザーコントロール

*注意: 耳鳴治療音機能が無効の状態で、耳鳴治療音を選択するとアラートのアイコンが表示されます(詳細は、**QuickTIPS：耳鳴治療音** をご参照ください)。*

2. プッシュボタンの場合、ボリューム機能の設定ができます。

<ボリューム機能の選択>

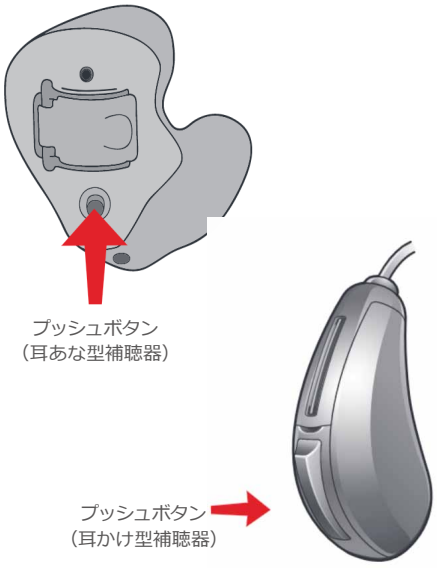
» 右: ボリュームUp　左: ボリュームDown　※Halo iQ, Halo2のみ対応

» 右（短押し）: ボリュームUp　右（長押し）: ボリュームDown
左（短押し）: ボリュームUp　左（長押し）: ボリュームDown

» 右（長押し）: ボリュームUp　右（短押し）: ボリュームDown
左（長押し）: ボリュームUp　左（短押し）: ボリュームDown

» 右: ボリュームスプリンクラー↓　左: ボリュームスプリンクラー↓

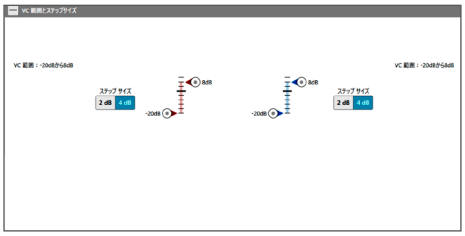
*注意: メニューバーの「**選択・一般**」からユーザーコントロール表示設定を選択します。（左右・↑↓など逆パターンの選択肢を表示できます）*



VC範囲とステップサイズ

1. ***ボリューム***が有効な場合「***VC範囲とステップサイズ***」を選択します。
2. VC（ボリュームコントロール）の範囲を調整します。
3. 2dBまたは4dBの***ステップサイズ***を選択します。

*注意: **ユーザーコントロール設定**にて**ボリューム**を選択していない場合、VC範囲とステップサイズは調節できません。*

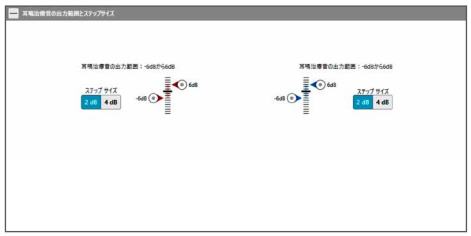


VC範囲とステップサイズ

耳鳴治療音の出力範囲とステップサイズ

1. **耳鳴治療音**を有効にしている場合**耳鳴治療音の出力レンジとステップサイズ**を選択します。
   (詳細は、QuickTIPS：耳鳴治療音をご参照ください。)
2. **耳鳴治療音**の出力レンジ（範囲）を調節します。
3. 2dBか4dBの**ステップサイズ**を選択します。

*注意：**ユーザーコントロール設定**にて**耳鳴治療音**を選択していない場合、耳鳴治療音の出力範囲とステップサイズは調節できません。*



耳鳴治療音の出力範囲とステップサイズ

VC セルフラーニング

1. ユーザーの好みのボリューム位置を補聴器に学習させるには、**VCセルフラーニング**の「**自動**」を選択します。

注意：VCセルフラーニングは、「ユーザーコントロール設定」にて「ボリューム」が有効になっている場合のみ実行できます。また、VCセルフラーニングは自動経験管理と同時に使用することはできません。VCセルフラーニングは、初期設定でOffになっています。

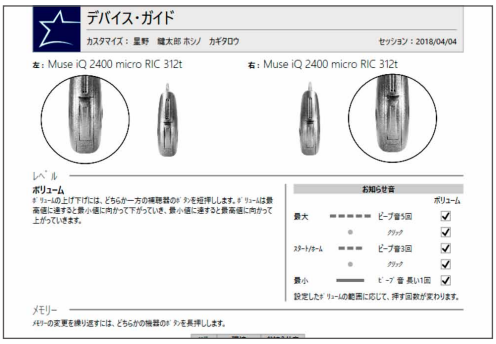
セルフラーニング：ユーザーの好みのボリューム位置を学習し、12時間の使用状況に基づいて2dBずつの自動変更を行います。

2. 「**メモリー変更時にレベルをリセット**」はデフォルト設定では、メモリー変更時にボリューム、耳鳴治療音、バランス（適用される場合）を各々のプリセットレベルに戻します。この機能を無効にすることもできます。

メモリー変更時のレベルをリセット

デバイス・ガイド

ユーザーコントロール画面で**印刷**アイコンをクリックします。そして、デバイス・ガイドを選択し、「**印刷プレビュー**」または「**印刷**」をクリックします。補聴器に設定されたユーザーコントロールの情報は「**レベル**」項目に印刷されます。



デバイス・ガイド